

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほのぼの

## 目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 1 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	新しい職員が増えたので、介護技術の均一化と、意識の高揚に取り組み、職員一人ひとりが利用者本位の介護サービスの実践を目指していく。また、看取り介護について、職員の意識とチームで介護する連携体制を整えていく。	外部や内部の研修会に、職員が交代で参加して貰い、介護知識や技術の習得に取り組み、利用者が安心してホームで暮らせる介護の実践に取り組んでいく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は、ホームの報告が中心で参加者からの質疑応答で終わっているため、会議の内容や運営方法を検討し、会議に参加することで、知識や情報が得られ、役に立つ運営推進会議になるように取り組んでいく。	参加委員を地域の有識者、知見者、複数の民生委員、薬剤師等から募り、新鮮な風を吹き込み、ホームの発展に繋がる会議にしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。